

小波津集落センターまつりを開催

小波津自治会（糸数栄吉会長）は12月27日、区民相互の交流と産業技術の向上を図り、地域産業の振興・発展を目的とした「第19回小波津集落センターまつり」を開催しました。農産物、農産加工品、花卉・盆栽のほか、児童生徒作品など150点余の出品があり、農産物の即売、黒糖づくりの実演や動物のふれあいコーナーも設けられ、多くの区民で賑わいました。



おいしくなるよう願いを込め、ムーチャー作り

西原保育所（添盛初子所長）では1月8日、園児がムーチャー作りに挑戦しました。ムーチャーは紅いも、ポテト、かぼちゃ味が用意され、園児らは「おいしくな～れ、おいしくな～れ」と言いながら、一生けんめいこねていました。また、ムーチャーのうたを歌い、紙芝居「鬼ムーチャー」で由来を学びながら、出来上がったムーチャーをおいしくいただきました。



今年一年の健康を願ってもちつき大会

町赤十字奉仕団（城間富子委員長）の「ふれあいもちつき大会」が1月8日、町民体育館で行われ、地域生活支援センター『さんさん』のみなさんが招待されました。城間委員長は「もちのように粘り強く、今年も頑張っけて乗り切ろう」とあいさつ。全員で代わるがわるもちをつき、つきたてのモチは、ぜんざいやきなこもちなどにして振るまわれました。もちつき後はフォークダンスで楽しく交流しました。



まちの話題

多くの町民で新年を祝う

1月4日、「平成22年度西原町新春のつどい」がエリスリーナ西原ヒルズガーデンで開催され、町民や企業、各種団体などの関係者約550人が参加し、新年のあいさつを交わしました。年頭のあいさつで、上岡町長は「町民一人一人が町政に参画する住民参画型社会を共通の認識とすることが大切。寅の新年を迎えるにあたり、町政の主人公は町民であることを再認識し、西原町の確かな未来を創造していきたい」と述べました。引き続き、鏡開きが行われ、新年の門出を多くの方が祝いました。



教育相談員が制作した紙芝居を活用しませんか？

12月22日、町教育相談員は心の教育に役立ててほしいと、制作した紙芝居を町立図書館へ3部贈呈しました。紙芝居は小学校低学年向けの「えがおであいさつ」、小学校中学年向けの「大ちゃんの夢」、中学生向けの「勇気百倍のみきちゃん」。相談員が平成18～19年に広く町民から募集した『胸にじーんとくるいい話』の作品の中から脚色して制作したもので、道徳の授業に使える指導案もあわせて提供しました。波平館長は「図書館では毎月紙芝居を開催しており、ありがたい。心の教育が叫ばれている今、活用を広めたい」とお礼を述べ、垣花教育長は「心の教育の推進に適している。授業でも活用してほしい」と話していました。



～友好のかけ橋へ～ 海外移住者子弟研修生修了式

7月から半年間、沖縄の文化芸能や企業等で研修を受けてきた町海外移住者子弟研修生の「平成21年度修了式」が12月7日、町中央公民館で行われました。式で、上岡町長は「帰国後も町人会を支え、母町との友好のかけ橋となってほしい」と激励し、研修生の3人に修了証書を渡しました。セルジオ・トシオ・神谷・与那嶺さん（ブラジル）は「沖縄で過ごした日々は私にとって宝物」、西・ソレダ・スサナ・奈津美さん（アルゼンチン）は「沖縄で学んだことをアルゼンチンに伝えたい」、呉屋・パオロさん（ペルー）は「沖縄の文化・歴史、うちなーんちゅのあたたかさ、親切さにふれることができ、とても感謝」と、上達した日本語でスピーチしました。また、研修生らは習った三線や琉舞、琉球國まつり太鼓の演奏を披露し、会場からは盛大な拍手が送られました。



食育の授業の集大成で調理実習

西原南小学校で12月15日、6年生を対象に食育の授業の一環で、調理実習が行われました。4年生の時から約3年間、町の保健師らによる食生活スキル講座で学んだ食育の知識を活かし、児童自ら栄養のバランスを考えた夕食のメニューを作り、買い物から調理まで行いました。6年2組のメニューは、ひじきハンバーグや自分達で栽培したホウレンソウの塩ゆで、ポテトサラダ。呉屋郁樹君は「ハンバーグを焼くのは難しかったけど、全部自作」と満足そうでした。



田港朝勝校長が教育者文部科学大臣表彰

西原南小学校の田港朝勝校長がこのほど、「平成21年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）」を受賞しました。これは、学校教育の振興に関し、功績顕著な教育者の功労を称えるもので、田港校長は全国連合小学校長会の理事を務めるなどこれまでの教育活動が認められました。12月17日、町役場を訪れた田港校長は「教職について使命の自覚を持って、これまで36年学校教育一筋。受賞は思いがけなかったが、感謝の気持ちが先にたつ」と述べていました。



城間亮太君が県童話・お話大会で最優秀賞!!

「第60回県小中学校童話・お話・意見発表大会」（12月4日・県PTA連合会主催）で、城間亮太君（坂田小学校3年）が見事、最優秀賞に選ばれました。12月9日、町教育委員会を訪れた城間君は「信じられないくらい、とても嬉しかった。県大会が一番上出来で、楽しく出来た」と喜びの表情。また、「上級生になったらお話でも頑張りたい」と更なる意欲をみせていました。報告を受けた垣花教育長は「とてもすばらしい。これからも目標をもって頑張してほしい」と褒め称えました。



西原なぎなたクラブが県なぎなた大会で大活躍!!

「第9回おきでん旗争奪・第28回沖縄県なぎなた大会」（12月20日・県立武道館）で、西原なぎなたクラブ（真栄城綾子監督）が大活躍しました。演技競技の小学3・4年生の部で、花城琴乃・瀬長桃子組が優勝、棚原二千香・喜久山彩恵組が2位、小学5・6年生の部で、米城映里花・仲里美優組が優勝しました。同クラブは12月22日、町教育委員会を訪れ、「絶対優勝するぞ!という気持ちでのぞみ、優勝できてとても嬉しい」と優勝の喜びを語りました。

